

保護者様

浦安市立見明川中学校
校長 鈴木 孝一

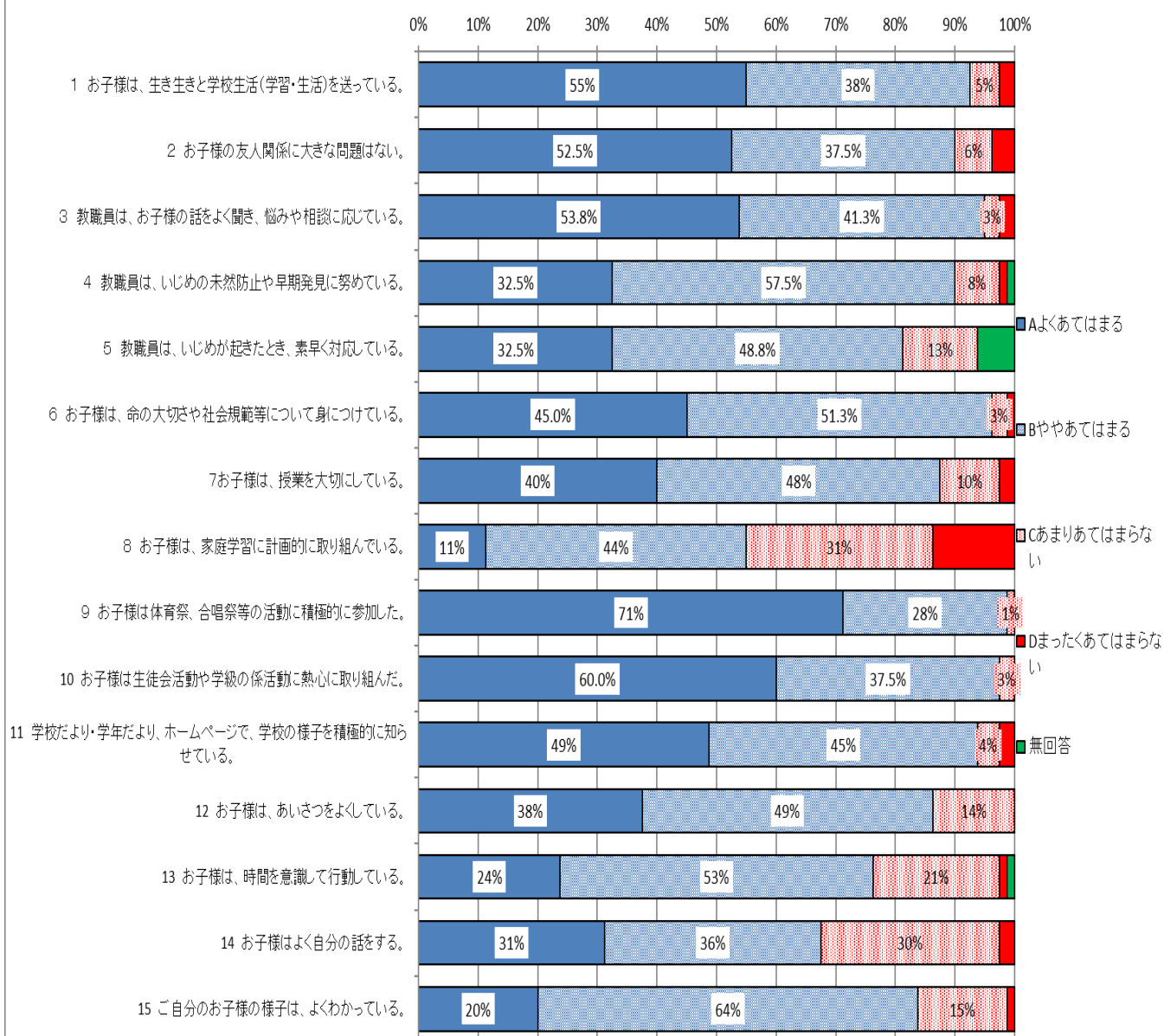
令和4年度浦安市立見明川中学校 教育アンケート集計結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より本校の教育活動にご支援をいただき、感謝申し上げます。

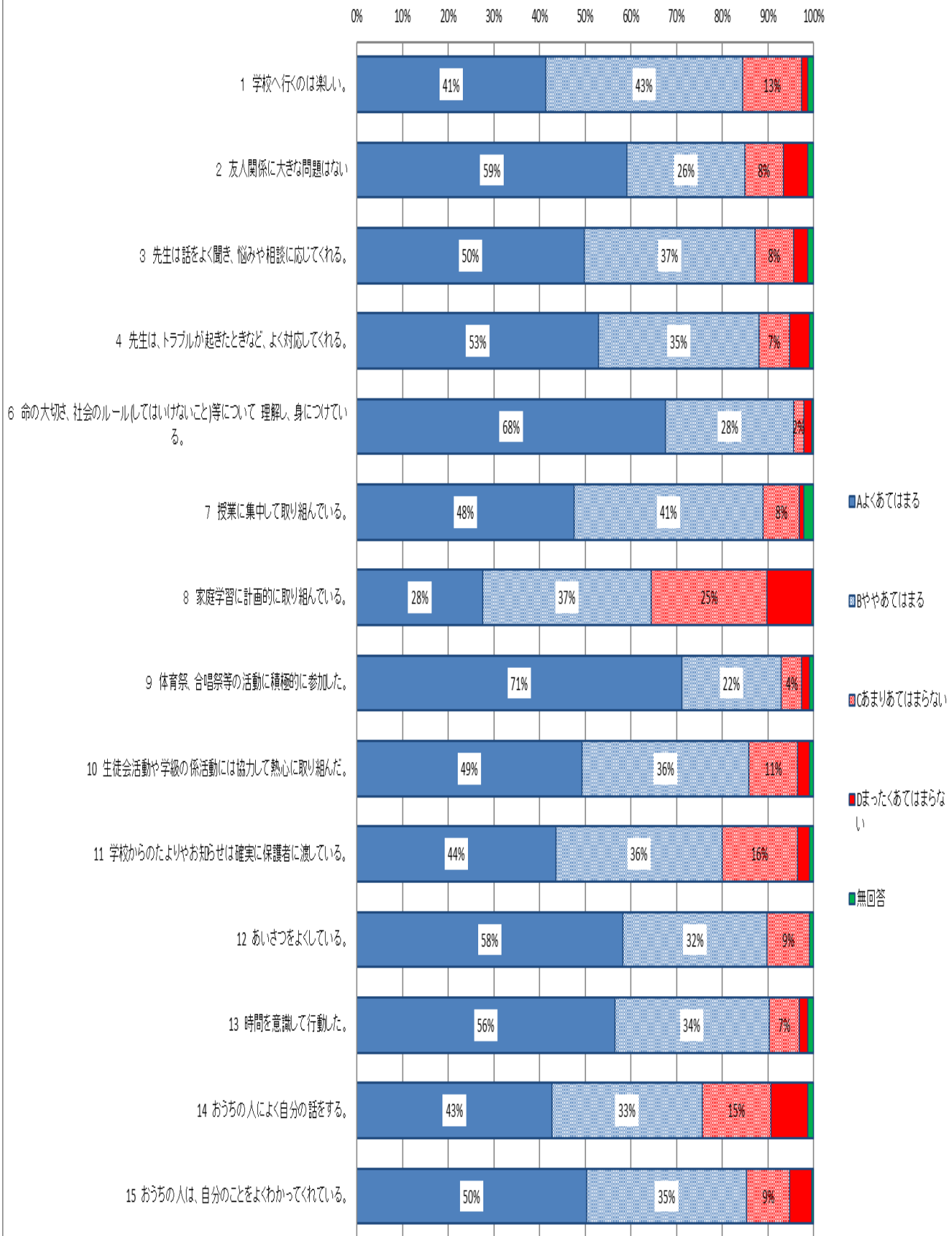
さて、12月に実施させていただきました教育アンケートを集計し、3月2日に開催いたしました学校評議員、学校関係者評価委員会の協議を経て下記のとおり保護者の皆様にご報告させていただきます。

学校ではこの集計結果をもとに、来年度の教育活動について検討を進めております。
今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

学校アンケート結果(保護者)



学校アンケート結果(生徒)



左から：Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dまったくあてはまらない
【回答についてのまとめ】 保護者の回答率・・・32% 生徒の回答率・・・95%

	アンケート項目	保護者		生徒	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
1	お子様は、生き生きと学校生活（学習・生活）を送っている。	3.5 ↑	3.1	3.3 ↑	3.1
2	お子様の友人関係に大きな問題はない。	3.4	3.4	3.4	3.4
3	教職員は、お子様の話をよく聞き、悩みや相談に応じている。	3.5	3.5	3.4 ↑	3.1
4	教職員は、いじめの未然防止や早期発見に努めている。	3.2	3.4	3.4 ↑	3.3
5	教職員は、いじめが起きたとき、素早く対応している。	3.2	—	—	—
6	お子様は、命の大切さや社会規範等について身につけている。	3.4	3.5	3.6	3.6
7	お子様は、授業を大切にしている。	3.3 ↑	3.2	3.4 ↑	3.3
8	お子様は、家庭学習に計画的に取り組んでいる。	2.5	2.9	2.8	2.9
9	お子様は体育祭、合唱祭等の活動に積極的に参加した。	3.7 ↑	3.6	3.6	3.6
10	お子様は生徒会活動や学級の係活動に熱心に取り組んだ。	3.6 ↑	3.5	3.3	3.4
11	学校だより・学年だより、ホームページで、学校の様子を積極的に知らせている。	3.4	3.3	3.2	3.2
12	お子様は、あいさつをよくしている。	3.2	3.2	3.5 ↑	3.4
13	お子様は、時間を意識して行動している。	3.0	3.0	3.5 ↑	3.3
14	お子様はよく自分の話をする。	3.0 ↑	2.9	3.1	3.1
15	ご自分のお子様様は、よくわかっている。	3.0	3.0	3.3	3.3
総計（平均値）		3.3	3.3	3.3	3.3

（小数第2位を四捨五入しています。）

【今年度の傾向】

- (ア) 昨年度は、前年度に比べてポイントがアップした項目が、保護者が4項目、生徒が1項目でした。今年度は、保護者6項目、生徒6項目でポイントがアップしています。
- (イ) 「お子様は、生き生きと学校生活（学習・生活）を送っている。」の保護者のポイントが0.4上がっており、一番の伸び率となっています。
また、この項目については、保護者・生徒とも昨年度よりポイントが伸びています。
- (ウ) 「お子様は体育祭、合唱祭等の活動に積極的に取り組んだ。」が保護者のポイントの中では、最高ポイントとなっています。行事の参観を例年に近い形に戻すことで、お子様の活動する姿を直に見ることができた結果だと考えています。
- (エ) 「お子様はあいさつをよくしている。」では、生徒と保護者に大きな差があります。しかしながら、生徒のポイントは伸びています。「相手に聞こえる声であいさつしよう」の呼びかけが生きていると考えます。今後も続けていくとともに、保護者の皆様にも「あいさつをよくしている。」と感じてもらえるように取り組んでいきたいと思ひます。
- (オ) 「お子様は、家庭学習に計画的に取り組んでいる。」が保護者・生徒とも下がっています。特に保護者は0.4ポイントダウンです。家庭学習に取り組みに向けた手立てを学校全体で考えていく必要があります。

【今後の課題】

- (a) 「教職員は、いじめの未然防止や早期発見に努めている。」の項目で、保護者のポイントが0.2ポイントダウンし、保護者と生徒で0.2ポイントの差があります。また、「いじめが起きたときに素早く対応している。」の保護者ポイントが3.2と低く、いじめの未然防止や早期発

見などの対応について、見直しが必要です。現在、月1回の生活アンケートを実施し、生徒の悩みや不安等について聞き取る機会を設けています。生活アンケートに記載があったことについては、その日のうちに聞き取りをし、生徒指導部会で共有・対応等の検討を行っています。今後、更に未然防止・早期発見に努めていきたいと思います。

- (b)「家庭学習を計画に取り組んでいる」が教職員・保護者・生徒ともに昨年度より下がっています。また、3.0ポイントに満たない状況です。来年度は、保護者の皆様の協力も得ながら、教職員だけでなく学習図書委員等の活動も含め、学校全体で家庭学習の取り組みに向けた手立てを考えていく必要があります。
- (c)「お子様は、よく自分の話をする。」「ご自分のお子様の様子は、よくわかっている。」が他と比べてポイント数が低い傾向にあります。面談等を通じて、このことを話題にするなど、改善するように努めていきたいと思います。
- (d)「学校日より、学年日より、ホームページで、学校の様子を積極的に知らせている。」が、0.1ポイントではあるが保護者のポイントが伸びています。今後も現状を続けるとともに、より分かりやすく伝えていくことで、更に保護者の皆様の理解を得ていく必要があると考えます。
- (e)「お子様は、時間を意識している。」では、生徒と保護者で0.5ポイントの差があります。学校と家庭内での差であると思われます。学校だけでなく、学校外でも時間を意識して行動できるように生徒への意識づけが今後必要であると感じます。

【学校関係者評価委員会・学校評議員会のご意見】

①「お子様は、家庭学習に計画的に取り組んでいる。」について

○コロナの影響で、入学以来ずっと家にいる時間が長く、メリハリがつけにくいところがある。家で学校のことを勉強しなければいけない、復習プラス家庭学習だと思うが、家庭学習とは何か分からないままになっている。学校と家庭の境目があやふやになっていて、計画的な家庭学習という意識が付きづらい状況にある。家庭学習とは何かとその効果について学校で話をしていく必要がある。

○計画的にという言葉がわかりにくい。計画的にやることを教えたうえで、やった・やらなかったということだと思ふ。

○何をもちて家庭学習なのか。家庭学習は何をやるものなのか。家庭学習の定義をはっきりさせたほうが良い。

②「お子様はよく自分の話をする。」について

○思春期なので致し方ない部分もあるが、本来学校の話ができるはずだが、これも家にいる時間が長いと家庭学習と同様の状況がある。今日学校はどうだったということを家庭で上手に聞くことや学校で帰ったら学校でやったことをこんなふうにしていいんだよという声掛けが必要である。

③「教職員は、いじめの未然防止や早期発見に努めている。」「教職員は、いじめが起きたとき、素早く対応している。」について

○学校の中で、定期的にいじめについて話し合う機会がもたれていることを保護者にも専門的な言葉ではなく、わかりやすい言葉で伝えていく必要がある。

④学力について

○学力向上に向けた具体的な策が必要である。

○何か策をもって取り組むのであれば、見中学生ならば頑張ると思う。

⑤その他

○いろいろな行事等が縮小の状況で、保護者もお互いの顔を合わせて話をする機会がほとんどなかった。今後、必要なことは復活させていく必要がある。

○3年生を送る会で、緊張感のある部分、楽しむときは楽しむ雰囲気、3年生代表の話、校長先生の話、3年の学年主任の話と、いい雰囲気の理想的な学校だと感じた。

○分かりやすい言葉で保護者へ伝えることはとても大事である。アピールが大切である。

○保護者の回答率が低いことへの対策が必要である。Webでの回答にしたことが大きく影響していると思うが、こういうアンケートは回答率が大切なので、紙に戻すことも必要ではないか。

○見明川中学校の行事を例年見させていただいて、コロナ禍の3年間も何も変わらず、行事はめっちゃくちゃきちんとしている。ただやるという感じは一切なく、いつも全力を出し切ってやっている。必ずそういう姿が見られる。それはどこから来ているのかと考えると、伝統というのが一番大きく、先生方の力もあるのかなと感じている。この伝統を続けてほしいし、外から見ると見ても申し分ないので、ずっと変わらずいてくれてうれしい。

※本校ホームページに結果を掲載しますので、グラフの詳細はそちらをご覧ください。